

報道関係者各位

令和5年8月31日

山梨県農政部 販売・輸出支援課

課長 成島 仁

電話 055-223-1597 (内線 5500)

山梨県産果実の令和4年輸出実績額が20億円を突破

山梨県では、果実を中心とする農水産物の輸出拡大を重要な施策に位置付け、アジア諸国への輸出拡大を目指して取り組みを強化して参りました。

この度、「令和4年 山梨県産果実の輸出実績」を取りまとめたところ、県産果実の輸出額が20億円を突破し、過去最高額となりました。

令和4年 山梨県産果実の輸出実績について

1 輸出実績

(1) 概況

- 令和4年における県産果実の輸出額は 20億7千200万円余
 - 「山梨県総合計画」及び「やまなし農業基本計画」で設定した令和4年における輸出目標額 13億円の約1.6倍
 - 過去最高を記録した令和3年と比較して、輸出量は71,498kg (+6.4%)、輸出額は約3億円 (+18.0%)の増加
 - ・ 国・地域別の状況では、輸出量、輸出額ともに香港と台湾で90%以上
 - ・ 香港は継続して輸出量が増加したものの、台湾への輸出量は台湾におけるモモの残留農薬基準値の変更等の影響で減少
 - 輸出額増加の主な要因
 - ・ 香港 モモ 需要拡大 (対前年比 +23.9%、約1億9,600万円増)
 - ・ 香港 ブドウ 需要拡大 (対前年比 +8.1%、約2,900万円増)
 - ・ シンガポール ブドウ 需要拡大 (対前年比 +152.5%、約3,000万円増)
 - ・ マレーシア ブドウ 需要拡大 (対前年比 +206.9%、約1,600万円増)
- ※ 香港における新型コロナウイルス感染症の感染拡大による巣ごもり需要の拡大に加え、シンガポール、マレーシアでは令和4年度からデジタルとリアルを効果的に組み合わせたプロモーションを開始したことが需要を押し上げ

(2) 輸出量 (kg)

区分	R4	R3	増減	前年比
果実全体	<u>1,189,366</u>	1,117,868	71,498	<u>106.4%</u>
モモ	872,210	812,885	59,325	107.3%
ブドウ	308,132	301,369	6,763	102.2%
その他(※)	9,024	3,614	5,410	249.7%

※スモモ、干し柿等

(3) 輸出額 (千円)

区分	R4	R3	増減	前年比
果実全体	<u>2,072,797</u>	1,756,135	316,662	<u>118.0%</u>
モモ	1,213,491	994,325	219,166	122.0%
ブドウ	847,006	757,160	89,846	111.9%
その他	12,300	4,650	7,650	264.5%

(4) 国別輸出実績

① 輸出量 (kg) ※ 構成割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計しても必ずしも100とはならない。

輸出先	R4		R3		比較	
		構成割合		構成割合	増減	前年比
香 港	927,181	78.0%	841,344	75.3%	85,837	110.2%
台 湾	183,885	15.5%	217,972	19.5%	△34,087	84.4%
シンガポール	48,191	4.1%	36,684	3.3%	11,507	131.4%
マレーシア	19,989	1.7%	13,598	1.2%	6,391	147.0%
タ イ	8,076	0.7%	6,991	0.6%	1,085	115.5%
その他(※)	2,044	0.2%	1,279	0.1%	765	159.8%
合 計	1,189,366		1,117,868		71,498	106.4%

※カナダ、カンボジア等

② 輸出額 (千円) ※ 金額は小数点以下第1位を四捨五入しているため、果実全体は必ずしも合計値と一致しない。

輸出先	R4		R3		比較	
		構成割合		構成割合	増減	前年比
香 港	1,411,855	68.1%	1,180,942	67.2%	230,913	119.6%
台 湾	484,137	23.4%	460,087	26.2%	24,050	105.2%
シンガポール	101,024	4.9%	68,776	3.9%	32,248	146.9%
マレーシア	39,811	1.9%	18,483	1.1%	21,328	215.4%
タ イ	27,371	1.3%	25,505	1.5%	1,866	107.3%
その他	8,600	0.4%	2,342	0.1%	6,258	367.2%
合 計	2,072,797		1,756,135		316,662	118.0%

2 今後の取り組み

- 高品質な果実の安定供給に向けた体制を強化し、更にブランド価値を高めることにより、他産地との差別化を図るとともに、デジタルとリアルを効果的に組み合わせたプロモーションにより県産果実の魅力を消費者に訴求していく。

(問い合わせ先) 販売・輸出支援課 海外輸出支援担当
055-223-1597 (内線5500)